

# 道徳教育の充実・改善のポイント

- 我が国の子どもたちは、生命尊重の心や自尊感情が乏しいこと、基本的な生活習慣の確立が不十分、規範意識の低下、人間関係を築く力や集団活動を通じた社会性の育成が不十分などといった指摘がなされています。（平成20年中央教育審議会答申）
- 道徳教育については、これらの課題を踏まえ、平成20年、21年に改訂した新学習指導要領において充実・改善を図っています。
- 子どもたちの豊かな人間性は、「学校」だけではなく、「家庭」や「地域社会」を通じてはぐくまれます。道徳教育の充実に当たっては、保護者と学校・地域の連携が不可欠です。

## ●学校における道徳教育

☆小学校、中学校における道徳教育は、「道徳の時間」（年間35時間、週1時間）を要として、学校の教育活動全体を通じて行われています。

☆高等学校における道徳教育は、人間としての在り方生き方に関する教育を学校の教育活動全体を通じて行われています。

## ●新学習指導要領の改善点

☆小学校、中学校

- ① 発達の段階に応じた指導内容の重点化（※）
- ② 児童生徒が感動を覚えるような魅力的な教材の開発や活用
- ③ 道徳教育推進教師（道徳教育の推進を主に担当する教師）を中心とした指導体制の充実
- ④ 道徳の時間の授業公開、家庭や地域社会との共通理解・相互連携

※小学校では「あいさつなどの基本的な生活習慣」、「人間としてしてはならないことをしないこと」、「集団や社会のきまりを守ること」、中学校では「主体的に社会の形成に参画すること」等

☆高等学校

- ① 学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育について、全体計画の作成
- ② 人間としての在り方生き方に関する学習の充実

## 学校における道徳教育への支援策

文部科学省では、

- 全国的な事例収集と情報提供  
全国協議会の開催や魅力的な道徳教材の調査研究を進めています。
- 自治体による多様な事業への支援
  - ・ 保護者・地域との連携など特色ある道徳教育や地域教材の作成等に支援を行います。
  - ・ 「心のノート」はWEB掲載とし、その活用支援を行います。